

# 和泉だより

10月号

平成28年10月3日  
千代田区立和泉小学校  
千代田区神田和泉町1番地  
<http://www.chiyodaku-izumi-e.ed.jp>

「楽しいから頑張れる」

副校長 太巻 美青

9月25日（日）に、本校の秋季大運動会が実施されました。雨天のため、24日（土）から延期しての実施となりました。この運動会実施に当たり、各ご家庭での児童への励まし、延期に伴う対応、校庭整備のための布の寄付、PTA 活動等、保護者・地域の皆様には、様々なご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

この運動会でとても印象的だったことは、どの学年も児童が楽しそうに取り組んでいる姿でした。運動において、楽しいと思う気持ちが大切であることを感じる場面は、その他にもありました。

9月28日（水）、児童集会に和泉小学校の地域のオリンピック 藤原 康治さんをお招きし、児童にお話をいただきました。藤原さんは、1992年バルセロナ・オリンピックに、セーリングの選手として出場されました。お話の中で印象的だったのは、「好きだったことなので辛くはなかった。」という言葉でした。そして、児童に「身近な目標と遠い目標をもとう。」「頑張ることを続けよう。」というメッセージを送ってくださいました。

また、9月はリオ・パラリンピックが開催されました。その中で、車いすテニスで銅メダリストとなった上地 結衣選手が、このように話していました。「たくさんの悔しい思いもしてきましたが、そうしたことを乗り越える根本には、楽しいという気持ちがあったと思います。楽しいからこそ努力もするし、挑戦もできます。」

今、子供の体力向上が課題とされていますが、体力向上のためには運動の日常化が必要です。それは、運動が楽しいと思える気持ちが原動力となります。これは、運動に限ったことではないのではないのでしょうか。

運動会で児童が楽しそうに競技に臨む姿、そして一つ成長した姿は、今後の活動に自信と意欲を与えてくれるものと思います。10月は「スポーツの秋」「読書の秋」「勉強の秋」等、様々なことに集中して取り組める時期です。また、宿泊行事等も控えています。児童がたくさんの「楽しい」を見つけ、小さな目標から大きな目標に向かって頑張れるよう、充実させていきます。

## 孺恋自然体験交流教室～収穫の秋～

5年担任 山宮 秀和

秋の孺恋自然体験交流教室が、25日から始まります。春と同じ場所に行くことで、学びの深まりが期待できます。

まず、新芽がきれいであった春と、紅葉が美しい秋の風景の違いを見つける楽しさがあります。また、春に植え付けたキャベツとジャガイモが、立派に生長しているのも楽しみです。さらに、世話をしてくださった農家の方々に感謝の気持ちをもてるのも、春の経験があったからです。

交流という点では、一緒に行く3校でも、交流を深めます。3校の交流会を行い、みんなでもっと仲良くなる活動を行います。今回の仲間は、6年生の陸上記録会でも一緒になり、中学校で会うことがあるかもしれません。

1年に2回宿泊学習ができるという恵まれた環境を活かして、充実した活動にしていきたいと考えています。

## 日光移動教室

6年担任 川嶋 美武

運動会が無事に終わり、6年生にとって次の大きな行事である日光移動教室が約2週間後に迫ってきました。日光といえば、1999年の12月に世界文化遺産に認定されたことで外国人観光客にも人気があり、江戸幕府三代将軍の徳川家光が創建した東照宮があります。また、伝統文化として有名な「日光彫り」が今も脈々と受け継がれています。そして緑豊かな自然が数多くあること、それが日光のもっている魅力であるといえます。

そのような日光に18日（火）から行ってきます。今回行う二泊三日の移動教室は小学校生活最後の宿泊行事でもあります。歴史や伝統文化、そして自然にふれながら、友達と協力し、卒業まで半年をきった小学校生活の良い思い出をつくることにつなげていきたいと考えています。